(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート(中間)

評価実施年月:平成24年3月

1. 事業対象	亀城処理区 合流式下水道緊急改善事業		
2. 実施主体名称	土 浦 市		
3. 計画期間	平成22年度~平成25年度		

4. 対象事業の進捗状況

- 〇 雨水流出量の抑制により、越流回数、越流水量を削減し、汚濁負荷の流出を軽減を図る施設 雨水滞水地を設置した。(貯留量 5,325立方メートル 平成12~16年度)
- 夾雑物除去対策として、ポンプ棟(2箇所)にスクリーンを設置した。(亀城ポンプ場25mm 平成15~16年度・桜川ポンプ場20mm 平成17~18年度)

5. 目標の達成状況と達成の見通し

改善目標

改善項目	中間目標	最終目標	当面の改善目標
①汚濁負荷量	年間放流負荷量	年間放流負荷量	年間放流負荷量
の削減	26.6 t/年	17.0 t/年	17.1 t/年
②公衆衛生上	年間越流回数	年間越流回数	年間越流回数
の安全確保			(越流回数の半減)
	・桜川ポンプ場の目標	・桜川ポンプ場の目標	・桜川ポンプ場の目標
	36 回/年	25 回/年	25 回/年
	・亀城ポンプ場の目標	・亀城ポンプ場の目標	・亀城ポンプ場の目標
	23 回/年	13 回/年	13 回/年
③夾雑物の 削減	細目スクリーン(整備済)	細目スクリーン(整備済)	細目スクリーン(整備済)
	2 箇所	2 箇所	2 箇所

最終目標=当面の目標、 中間目標(H23年)

- ・汚濁負荷量の削減ついては、未達成である。
- ・公衆衛生上の安全確保については、未達成である。
- ・夾雑物の削減は現状で達成済である。

6. 対象事業の整備効果の発現状況

・スクリーン設置による夾雑物除去効果については、ポンプ場(桜川・亀城)2箇所に設置したことにより、現在まで、処理場からの放流による、ゴミ漂着等の報告は受けていない。

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

・合流式下水道改善計画に基づき、計画的に整備を進めているところであり、実施段階において、合理的・効率的な設計となるようにしている。

8. 今後の方針

- ・雨水吐に設置する夾雑物等除去施設(越流堰嵩上げ)については、霞ヶ浦流域下水道内に、 合流地区の簡易水処理施設の建設に併せて実施することから、今後、双方で協議しながら進 めていく。
- ・霞ヶ浦流域下水道内の簡易水処理施設、分流化に係る場内ポンプ場施設設置工事については、水処理場において現在7系の増設工事と、通常運転と輻輳することから密な工程管理を行い、平成25年度の完成を見込んでいる。